

令和5年度第2回伊勢市子ども家庭支援ネットワーク委員会議 議事録

日 時 令和5年12月22日（金）午後1時30分～
場 所 伊勢市健康福祉ステーション7階
福祉総合支援センターよりそい 会議室1・多目的ルーム
出席委員 秋山会長、辻村副会長、竹澤委員、奥田委員、山路委員、久保田委員、
竹内委員、鎌田委員、宮村委員、西川委員、岡村委員、岡本委員、山口委員、
加藤委員、濱口委員、堀川委員、奥野委員、谷委員
欠席委員 田口委員、前田委員、中村委員、樋口委員、亀山委員、上永委員
事務局 健康福祉部理事、健康福祉部参事、こども家庭相談係長、ほか4名
議 題 議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク上半期活動実績について
議案第2号 「子ども虐待防止啓発月間」における活動について
議案第3号 伊勢市の児童虐待防止への取り組みについて
その他
(1) 子ども家庭センターについて
(2) ヤングケアラーの取り組みについて
(3) 地域におけるいじめ防止対策事業について

1 あいさつ

【事務局】

開催挨拶、欠席委員報告、事務局紹介

【会長あいさつ】

2 報告・協議事項

議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク上半期活動実績について

【事務局】 議案第1号について報告

【委員からの主な意見】

- ・通告に関して、一般の方は、気がかりな子どもを見聞きした場合でも間違いかもしれないと迷ったり、既に学校で見守りされているだろうと考えて、通告をためらうことがあるため、「通告は義務である」ということを周知していくことが重要。また、通告が、困っている家庭を救うきっかけになることもあるので、心配情報は重複したとしても各所から連絡していただくほうがありがたい。
- ・地域で民生委員さん等が虐待を見かけたり普段との違いに気づかれた場合、学校へ連絡を入れていただけるよう普段からネットワーク体制を構築しておきたい。
- ・通告対応において、困っていることはないか、保護者に寄り添い支援していくという姿勢

を持つことを大切にしている。

議案第2号 「子ども虐待防止啓発月間」における活動について

【事務局】議案第2号について報告

【委員からの主な意見】

- ・伊勢市子ども家庭支援ネットワークの振り返り

議案第3号 伊勢市の児童虐待防止への取り組みについて

【事務局】議案第3号について報告

【委員からの主な意見】

- ・虐待が起こる前段階で把握し支援できることが望ましいので、子育て不安を抱えている家庭を市として把握することが虐待防止につながっていく。こども家庭センター機能も関係してくるが、母子保健と児童福祉機能の一体的な体制づくり、ネットワークでの連携が欠かせない。

3 その他

事務局より (1) こども家庭センターについて、(2) ヤングケアラーの取り組みについて、(3) 地域におけるいじめ対策事業について説明